

10. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（－：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連  (四国)	◎	－	－	－
	○	衣料品専門店 (経営者)	販売量の動き	・過去の月と比べて比較的天候に恵まれたため、僅かではあるものの久しぶりに販売量が増加した。
	○	家電量販店(副 店長)	販売量の動き	・蛍光灯が2027年度末までに段階的に製造禁止になることや、エアコン省エネ基準が2027年度から改定されることを踏まえた価格上昇予測により、シーリングライトは前年比180%、エアコンは140%、全体では116%で推移している。
	○	乗用車販売業 (営業担当)	販売量の動き	・人気車種の再販売によって受注が一時的に回復し、単月で見れば販売量が増加した。
	○	その他小売 [ショッピング センター] (館 長)	来客数の動き	・飲食や土産を主とした食品が好調である。現在は、来客数が増えるタイミングでもあるが、好調だった前年以上である。
	○	タクシー運転手	来客数の動き	・四国遍路の仕事が入ってきている。3月中旬にタクシー料金が値上がりになったが、街で働いている人は、それによってある程度収入が増加しているようなので、以前より少し良い。
	○	観光遊園地(主 幹)	来客数の動き	・大型イベントを実施した影響により、市内中心部や施設への来客数が増加した。
	○	美容室(経営 者)	来客数の動き	・入学式、入社式の方とアリーナのコンサートに行かれる方の来店が多かった。
	□	商店街(代表 者)	来客数の動き	・4月に2回実施したイベントが盛況で、来客数は前年と比較して7～8%伸びている。イベントの影響によって商店街への人手がかなり増加する傾向がある。また、新しい飲食店が増加したことに対して、客は魅力を感じているようにみられる。
	□	商店街(常務理 事)	来客数の動き	・港湾地区でのにぎわいやSNSの情報発信が奏功しており、若年層を中心に来街者が増えて商店街には活気がある。おおむね飲食店は潤っている一方で、物販店はそのにぎわいを売上につなげられていない。
	□	商店街(代表 者)	それ以外	・地政学的リスクがもたらす影響が地方経済にも及んでいる。生成AIの波及が新たな産業革命を起こす時代に入ってきた。インフレ経済の急激な進行が進めば大きな波乱が起これとみられる。
	□	商店街(代表 者)	お客様の様子	・中東情勢の影響による物価高が続き、客の購買意欲が低下している。また、外出を控える傾向にあるようにみられる。
	□	一般小売店[生 花](経営者)	お客様の様子	・母の日の予約が例年より早く入ってきている。購入を決めている人は、価格が上昇していても早々に予約している。一方で、迷っている人は購入しない方を選択するため、どちらかにはっきりと分かれている。
	□	百貨店(マネー ジャー)	販売量の動き	・中国からの来客数の大幅な減少の影響で、売上も大幅に減少している。国内は、一部の高額品のみ好調に推移するものの、商品の価格上昇による物価高の影響により、客の購買意欲が低下している。
	□	スーパー(企画 担当)	来客数の動き	・継続する価格上昇の影響により、来客数と買上点数は前年を下回る厳しい状況である。異業種でも、食品の取扱を始める企業が多く、競争に苦戦している状況である。
	□	スーパー(財務 担当)	単価の動き	・来客数の減少が継続しているが、客単価の上昇がそれを若干上回り、何とかカバーしている。
	□	衣料品専門店 (経営者)	来客数の動き	・来客数が少なく、客単価も余り上がらない状況が続いている。物価高の影響もあり、インバウンド相手の商売以外は余り景気が良くないとみられる。
	□	観光型旅館(経 営者)	来客数の動き	・自社だけでなく、当地域全体の宿泊者数も前年比で平均3%ほど伸びているため、景気は3か月前と同様に良い傾向とみられる。

	□	タクシー運転手	お客様の様子	・2～3か月前から余り変動はない。例年は、新入社員の歓迎会などがあるが、それも毎年減少している。今年も数えるほどしかなく、昼間の状態も余り良くない。
	□	通信会社（営業部長）	販売量の動き	・業界の例年の傾向として、第1四半期は販売が落ち着く時期であり、今後販売に寄与されそうな新たなトピックもない。
	□	設計事務所（所長）	単価の動き	・短期間で物価が乱高下するため、良いのか悪いのか分からない状態である。
	▲	一般小売店〔文具店〕（経営者）	販売量の動き	・例年、年度初めの影響で多少売上が減少するが、今年は原油価格上昇が影響して、売上が減少傾向にある。
	▲	一般小売店〔酒〕（経営者）	販売量の動き	・物価高で外食を控える傾向にあることから、飲食店への納品が低迷しているうえ、さらに家庭用の納品も減少している。
	▲	スーパー（店長）	来客数の動き	・来客数の前年割れが続いている。
	▲	スーパー（企画担当）	来客数の動き	・中東情勢の影響によって価格改定の依頼が随時来ており、今後の物価や原価の上昇は否めない。また、それらの報道が客の耳に入ることにより、さらに節約志向が高まるものとみられる。
	▲	スーパー（人事）	来客数の動き	・雨天も多く客足が鈍っていることに加え、節約意識が高まっている。
	▲	スーパー（統括担当）	単価の動き	・客の購入単価が低下してきた。無駄が出ないように、少量の商品を望む声が聞かれる。
	▲	コンビニ（店長）	販売量の動き	・来客数、売上共に減少している。消費意欲の弱さがみられる。
	▲	コンビニ（店長）	来客数の動き	・来客数が徐々に減少しているが、客単価と売上はインフレの影響により増加している。
	▲	コンビニ（商品担当）	単価の動き	・為替変動や中東情勢の影響により、輸入原材料及びパッケージ包材の価格が上昇している。また、気候が国内の生鮮青果などへ与える影響も懸念される。
	▲	衣料品専門店（営業責任者）	販売量の動き	・前年と比べ売上は5%程度減少している。中東情勢の影響による価額上昇が客の心象にも負担になっており、来客数とともに客単価も減少している。
	▲	家電量販店（店員）	販売量の動き	・価格上昇の影響もあり、検討はするものの購入にいたらないケースが増えている。必要にかられて購入する場合も、付属品等は購入を控えているようにみられる。
	▲	乗用車販売店（役員）	それ以外	・中東情勢の影響により、物不足が発生してきている。
	▲	一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・4月から多くの物の価格が上昇したことや、当店の値上げの影響により、売上、来客数共に少ない。
	▲	都市型ホテル（経営者）	販売量の動き	・先行きの不安から動きが悪い。
	▲	美容室（経営者）	お客様の様子	・4月は例年来客数が少なめである。
	×	一般小売店〔書籍〕（営業担当）	販売量の動き	・新学期の採用品の売上が、年々減少している。少子化や紙の本から電子書籍への移行などが要因として挙げられる。
	×	コンビニ（総務）	来客数の動き	・売上が前年比98.2%となる中、来客数は前年比96.0%と一層悪い。
企業動向関連	◎	—	—	—
(四国)	○	化学工業（所長）	受注量や販売量の動き	・中東情勢の影響により需要の先食いが始まるとともに、価格転嫁も進んでいる。
	□	食料品製造業（商品統括）	それ以外	・中東情勢の影響で不確定要素が多く、分からないのが本音である。
	□	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・民間工事で若干動きはあるが、相変わらず公共事業が少ない。
	□	輸送業（経営者）	取引先の様子	・政府の対策により、不安要素は少なく感じる。
	□	通信会社（総務担当）	受注量や販売量の動き	・当初計画どおり販売目標は達成できた。
	□	通信業（企画・売上管理）	受注量や販売量の動き	・年末頃から売上は前年割れで推移しており、4月も変わらない。

	□	金融業（副支店長）	取引先の様子	・3か月前と比べて大きな変化はない。
	▲	木材木製品製造業（営業部長）	受注量や販売量の動き	・受注量は回復しているが、中東情勢の影響を受けて建築現場で遅延が起こる可能性がある。今後の動きに注力していくが、受注が減少する可能性が大きいとみている。
	▲	電気機械器具製造業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・成約が決まらないため、景気が悪いとみられる。また、開発にかける資金等の入手が困難な状況である。
	▲	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・個人の消費動向が低調である。中東情勢の影響により、建設資材が確保できない事態になってきている。
	▲	不動産業（経営者）	取引先の様子	・不動産仲介業では、新築住宅建築用地を住宅メーカーにあっせんすることも事業のうちであり大きな部分を占めているが、新築着工件数の減少により取引も減少している。
	▲	税理士事務所	取引先の様子	・金利が上がったことで、資金繰りが余計に苦しくなっている。
	×	繊維工業（経営者）	それ以外	・春物商材の受注が活発で、新商品の評判も良く、順調に推移している。しかし、中東情勢の影響によって前月頃から副資材の価格上昇に拍車がかかり、なっ染プリント加工に使用する顔料接合材の入手が困難になる可能性が出てきた。6月以降のプリント加工数量が制限されるため、対策に追われる状況が続いている。
	×	建設業（総務）	受注価格や販売価格の動き	・中東情勢の影響によって材料代がどんどん上昇し、値段も頻繁に変動している。また、入荷も遅く、入荷時期が読めないこともある。
	×	広告代理店（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・原材料価格の上昇が止まらず、販売価格に転嫁するよりも先に新たな値上げがある。
雇用 関連	◎	—	—	—
	○	—	—	—
(四国)	□	人材派遣会社（オフィス責任者）	周辺企業の様子	・人材募集の理由としては、事業拡大や業績好調による増員というよりも、欠員対応がほとんどであり、特に状況に変わりはない。
	□	人材派遣会社（総務部長）	求職者数の動き	・求職者数が減少している。
	▲	求人情報誌（営業）	採用者数の動き	・県内中小企業では新卒採用が厳しくなっていたが、建築、建設業界及び周辺業界、化学関連業界は、中東情勢の影響に伴う建材や原材料の仕入価格の高騰による先行きの不透明感から業績が悪化しており、更に新卒・中途とも採用を控えつつある。
	▲	新聞社〔求人広告〕（担当者）	それ以外	・民間企業からのマス告知の需要が減少している。
	×	—	—	—